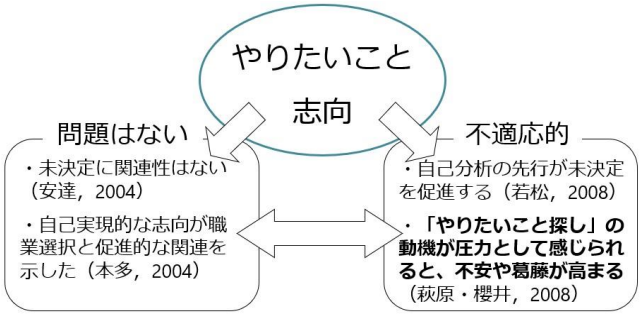
個人の動機づけや感情、信念が職業選択やキャリア形成に与える影響の検討

研究者プロフィール

・人間科学部　心理行動科学科　教授　萩原俊彦
・専門分野　発達心理学、教育心理学
・研究分野　大学生・高等専門学校生（高専生）のキャリア
・所属学会　日本心理学会、日本教育心理学会、
日本キャリア教育学会、日本キャリアデザイン学会
・2009年　筑波大学人間総合科学研究科心理学専攻修了　博士（心理学）
・主要著書　『キャリア・コンストラクション ワークブック：不確かな時代を生き抜くためのキャリア心理学』（金子書房，2013年：分担執筆）、他

研究内容

・個人の動機づけや感情、信念が職業選択やキャリア形成に与える影響を研究しています。現在は「高専教育におけるキャリア教育による内発的動機付けと学ぶ力への効果検証」のテーマで、工業高等専門学校や大学の研究者と共同で研究しています
・若者の職業選択における「やりたいこと」への意識の高さについて動機づけの観点から検討しました（右図）

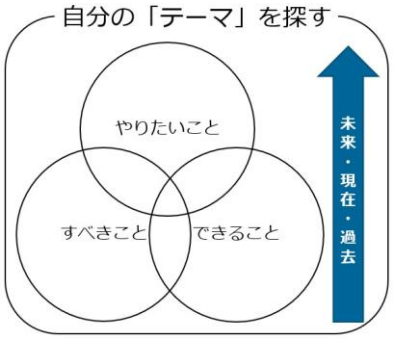


関連キーワード

職業選択　キャリア　動機づけ

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ 他

・キャリアに関する心理学の専門知識を活かして、高校生や大学生がキャリアについて考えるためのワークショップ等を企画する際の助言やお手伝い
・右図は「キャリアを考える」際のイメージです
・民間の各種団体、学校関係者の皆様などとの連携を想定しています



研究者への連絡先

産学連携推進センター
Email　srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
電話　022-354-8122